

箕面東高等学校 令和4年度 第3回学校運営協議会 議事録

校名	府立箕面東高等学校
校長名	佐藤 誠治

開催日時	令和 5年 3月 10日(金)14:00～15:30
開催場所	箕面東高等学校 校長室
出席者(委員)	伊東委員・篠崎委員・永井委員・橋本委員・須貝委員・土手委員
出席者(学校)	佐藤校長・川上教頭・末永教頭・今西事務長・室田首席・矢野進路指導部長
傍聴者	
協議資料	学校経営計画・教育自己診断アンケート結果・進路状況について
備考	

【報告事項】 ○・・・委員の方の発言 ●・・・学校からの回答

1. 学校教育自己診断アンケートについて

- ・今年度から Google Form を活用して実施した。  
今年度特徴的だった点は以下の通り。
- ・生徒アンケートでは「先生たちはわかりやすく授業をしてくれますか」という質問に対して、「授業がとともわかりやすい」、「まあまあわかりやすい」という肯定的な回答が86%であった。
- ・「進路決定のためのキャリアガイダンスは役立ちましたか」については昨年度より多い87%が役立ったと回答している。
- ・「学校のルールを守っていますか」には90%以上の生徒が守っていると回答している。
- ・「生徒指導（頭髪指導、遅刻指導、携帯指導等）の方針について納得していますか」については6割を超える生徒が納得していると回答している。
- ・教員アンケートでは「この学校では、コンピュータ等のICT機器が授業なので活用されている」の設問に対して、96%があてはまると回答している。年々活用が増えている。
- ・保護者アンケートは回答が少なく、70名程度の回答であった。もっと家庭学習をやらせてほしいという意見が多く見受けられた。

○家庭学習について全くしないと回答する生徒が65.5%もいる。試験前にも勉強しない生徒もいるのではないか。

●次年度1年生から、学習アプリを取り入れる予定。朝学でやってから、残りを宿題にするなど、家庭学習を増やしていこうと思っている。1年から習慣づけて学年進行で

実施していきたい。

○いじめ問題についての意識はどうか。

- 生徒アンケートでは「先生たちはいじめなど困っていることについて真剣に対応してくれている」については当てはまると答えた生徒は75%だった。教員アンケートでは「いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる」については、92%の教員が当てはまると回答している。

## 2. 令和4年度卒業生進路決定状況について

- ・進学については、今年度は京都産業大学や、摂南大学に合格した。教員が学校説明会などに積極的に参加し、そこで知った総合学科入試という方法で、合格した生徒もいた。大阪芸術大学や大阪成蹊大学などの芸術系の学部でも合格者が出た。
- ・就職については学校斡旋での就職内定率は100%であった。職種・業種は様々であるが売り手市場となっている。今年度は看護医療希望者がいなかったが、次年度は看護系に力を入れたい。
- ・中学生向けのチラシを作成した。箕面東は進学も就職も頑張っているというアピールをしたい。高大連携を活用した体験授業をとおして、将来のイメージを持てるようにしたい。これまで、進路実績のアピールはしていなかったが、学校運営協議会で委員の方からアイデアをいただいた。次年度はこのチラシを持って中学校訪問し、箕面東をアピールしたい。

○チラシの色は学校のスクールカラーがあるのであれば、それを使ったらいいのではないか。

○スクールカラーは箕面の緑をイメージして緑色だったと思う。

●試作のチラシは箕面東のパンフレットに合わせて青黄色系で作成した。

○桜のイラストは春らしくていいと思う。

### 【協議事項】

#### 1. 令和4年度・学校経営計画の評価について（校長）

- ・「自己評価」欄に結果と自己評価を◎○△で表している。集計すると◎11、○10、△5であった。
- ・今年度特に力を入れたところは国際交流活動についてである。従来の韓国の高校とのWEB交流に加えて、今年度新たに箕面市の多民族フェスティバルに弓道部が参加した。また、神戸国際大学留学生と半日一緒に過ごすイベントでは、昼ごはんを近隣の店で一緒に食べ、授業を一緒に受け、放課後のクラブ活動も行った。
- ・国際交流委員会での次年度へ向けての話し合いでは、参加者をもっと増やしていこうということになった。

- ・次年度は今年度の取り組みをより高めて、充実させていく方針である。クラブ加入率を上げるために、新入生オリエンテーションで、工夫をこらしたクラブ紹介をする。
- ・居場所カフェ活動の肯定率 85 パーセントを維持が目標だったが、今年度下まわってしまった。次年度は周知をもっとすることを考えている。
- ・広報活動では定員割れ脱却に向けて動画を作成した。1月のオープンスクールで活用したが、次年度はこの動画を使った広報活動をしたい。北大阪急行の延伸もアピールしたい。ここ3年間は同じデザインのパンフレットやポスターを使用していたが、次年度以降変更を考えている。
- ・地域との連携した授業や生徒会活動として、今年度あらたに近隣の自治会と連携した落ち葉拾いや地域の祭に出店するなどした。次年度も積極的に地域活動に参加していきたい。

●部活動の加入率をどのように増やせばいいか、居場所カフェの認知度を上げるためにはどうすればよいか、学校のアピールには何をしたらいいかについてご意見をいただきたい。

○生徒は学校生活を楽しみたいことに重点をおいているのか、進路を実現させたいのか先生から見てどんな感じか。

●保護者は進路を見ている。生徒は楽しみたいが第1で進路のことを真剣に考えるのが遅い。1年の内からキャリア教育を充実していく必要性を感じている。出口が大事だと思っている。生徒から動き出すのが難しいので、こちらからきっかけ作りをしていきたい。

○いじめに対して親はナーバスになっているので、いじめをなくす取り組みをすることをアピールするのはどうか。安全安心の取組をし、いじめを減らす取組をアピールしていく。

○見えないところで何が行われているかわからない。いじめは犯罪だという周知・教育をする必要がある。

○いじめと言い出せない生徒もいる。箕面市ではタブレットから相談をする生徒もいる。そのような取組を学校でもするのはどうか。

○いじめの定義が昔と変わっていて、たとえば告白して断ったらそれはいじめ、消しゴム貸すのを断るのも相手が嫌がればいじめとカウントされる。命にかかわるいじめについては google classroom などを使い、スマホからでも送信できるようにして、キャッチしやすくするのがよいのではないか。

○居場所カフェはとてもいい活動だと思う。ボランティアの方は、先生と違う視点で見られる。

○箕面東は、昔はやんちゃな生徒が多いといわれていた。昔の悪いイメージを払拭するには地域へのボランティアなどに参加し、地道にアピールをしていくしかない。小さな努力も必要である。

○今の生徒は、入りたい部がないのか、クラブに興味がないのか？

●家庭の経済的な問題から、バイトをする生徒が多く、クラブ活動をする時間がない。携帯代は自分のバイト代で払う生徒も多い。保護者の経済的支援を受けられる生徒がクラブ活動に参加している。コミュニケーション能力に課題があるので、チームプレー競技は難しい面もある。弓道部はめずらしいので、それに興味を持ち入る生徒もいる。単独チームは男子バスケットのみになっている。一番元気のある弓道部の活動を押しに行きたい

○弓道部は学校として盛り上げて行こうとしているのか？

●弓道をやりたいとって入学してくる生徒もいる。公立高校では弓道部があるのは10校のみである。実績をつくって盛り上げていきたい。施設面も充実させていきたい。弓道場を整備して、よさをアピールし、定員割れを解消したい。

○体育の授業で弓道ができないか？

●安全面、道具の数、射場の問題で難しい。

○クラブをやりたくて入ってくる生徒が増えたらうれしい。

○阪急箕面駅からのバスが1時間に1本しかなくて通にくいことも問題。

●箕面市長とのタウンミーティングにおいて北大阪急行の延伸にともない、バスの本数を増やしていく方針だと聞いている。

○他府県の高校ではクッキーをつくって販売している。何かそのようなことでアピールできないか

○部活動の活性化は大切。以前は野球部で成功したように、弓道の重点化をしていけばいいのではないか。授業でやるのは無理だろうが、系列の1つでやるなど、部活を授業に取り入れて単位認定できるかわからないがそんなことも考えたらいい。写真、演劇、硬式野球なども、授業として実施して単位認定していくような、既存の単位認定の枠をこえて考えてみることも大切。

○進学実績のアピールも必要。モジュールで基礎をしっかりやり、3年間で自信をつけた生徒の様子もしっかりアピールすればいい。勉強がやはり大切。

○生徒の3年間の成長の様子を動画でとり、こんなに成長するということを、外部にアピールできたらいい。